



モデル農場での研究から持続可能な農業の実現へ

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

北海道士幌高等学校 畑作専攻班

【士幌町】

有機農業の普及を目標とした研究活動

【はじまりは？】

農林水産省は2021年「みどりの食料システム戦略」を策定し、持続可能な農業の実現に向けて、2050年迄に有機農業の取組面積を100万haまで拡大することを目標としています。

私たちは、未だ普及が進んでいない有機農業の普及を目的に活動を始めました。

【おもな活動】

学校の農場（1.8ha）を有機栽培モデル農場として、ばれいしょ・大豆・小豆・にんじん・さつまいも等を作付けしています。そこで得た収量等のデータを既に有機農業を実践している農業者の方々に提供し、意見交換を行うなど生の声を聞きながら有機農業の研究を行っています。

有機栽培の実践を通じて、収量の安定化や病害虫対策の難しさを実感するとともに、課題の抽出を行っています。



生育調査状況

【ここが自慢】

【各種会議に参加し活動を報告しています】

本校の圃場で馬鈴薯を栽培した結果をデータにまとめ、地域の農業者の方へ報告した結果、「地域農業の未来も明るいのではないか」とのコメントをいただきました。

また、令和4年には東京で開催された2022土壤肥料学会へ参加し、博識高い教授や多くの方々に助言とコメントをいただいたほか、とちオーガニック振興会でも発表を行い、十勝管内の農業者の方々から、助言・提案をいただいています。

今後も有機農業経営のモデルケースの作成を目標にモデル農場での研究を進め、持続可能な農業の実現に貢献したいと考えています。



とちオーガニック振興会での発表

連絡先

代表者名：石丸 響弥さん／設立：2020年／会員：9名

住所：北海道河東郡士幌町字音更21番地15

電話番号：01564-5-3121

F A X：01564-5-4130

E-mail：shihoronoujyoubu@gmail.com

U R L：http://shihoro-highschool.com